

「医師向け がん患者さんの障害年金請求のための 診断書作成ガイドブック」に関するアンケート結果

2025年2月

NPO 法人がんサネットジャパン

NPO 法人がんサネットジャパンでは、一人でも多くのがん患者さんが障害年金を受け取りやすくなるように、「[医師向け がん患者さんの障害年金請求のための診断書作成ガイドブック](#)」を制作、2024年4月に発行いたしました。

働くことや日常生活を送ることが難しいがん患者さんが障害年金を受給できれば、経済的な支えとなります。しかし、障害年金の制度は複雑で、診断書を作成するのとても煩雑だと言われています。また、がん患者さんが障害年金を受け取れる可能性があることは、まだ十分に医療従事者の間で知られていることではありません。そこで、がんサネットジャパンは、医療従事者の方々を対象に、がん患者さんの障害年金請求について事例をあげてわかりやすく解説した本ガイドブックを作成いたしました。

★ガイドブックはこちらからダウンロードできます → https://www.cancernet.jp/disability_pension

このアンケートは、これまで医療従事者が診断書作成でどんなことに困ってきたのか、そして、このガイドブックがどのように役立つかなどを調査したものです。

なお、いただきましたご意見、ご要望等は、重複する内容をまとめたり一部抜粋したりしてご紹介しております。判読が難しいもの、表記が適切でないものも含め、原文のままとさせていただきます。アンケートにご回答いただきました皆様に深くお礼を申し上げます。

◆アンケートの対象： 医療従事者

※アンケートに回答いただいた方には、無償でガイドブックを15部送付いたしました

◆アンケートの実施期間： 2024年5月9日（木）～11月30日（土）

◆アンケート有効回答数： 258件

アンケートでは、「がん患者に対象を絞っているのが良い」、「がん患者も障害年金を受給できること、医療者もイメージがない方が多いため助かる」というような、**本ガイドブックが医療従事者に障害年金について広く知っていただくきっかけの一つとなったこと**がうかがえる声がありました。

今回、医療ソーシャルワーカーからの回答が最も多く、「相談員と医師がイメージを共有できるのが良い」「医師に依頼をしやすい」といった意見があり、**障害年金の診断書作成にあたって、本ガイドブックが職種間のスムーズな連携にも役立つこと**もうかがえます。

※ 本アンケートは、ファイザー株式会社「医学教育プロジェクト:急性白血病の治療環境向上」の助成金を活用し、がんサネットジャパンが企画した「医師向け障害年金診断書作成ガイドブックの制作」のためのプロジェクトの一環として実施いたしました。

※ 上記助成金により、下記医療従事者向けのセミナーを開催し、本ガイドブックも紹介しました（アーカイブ動画あり）。

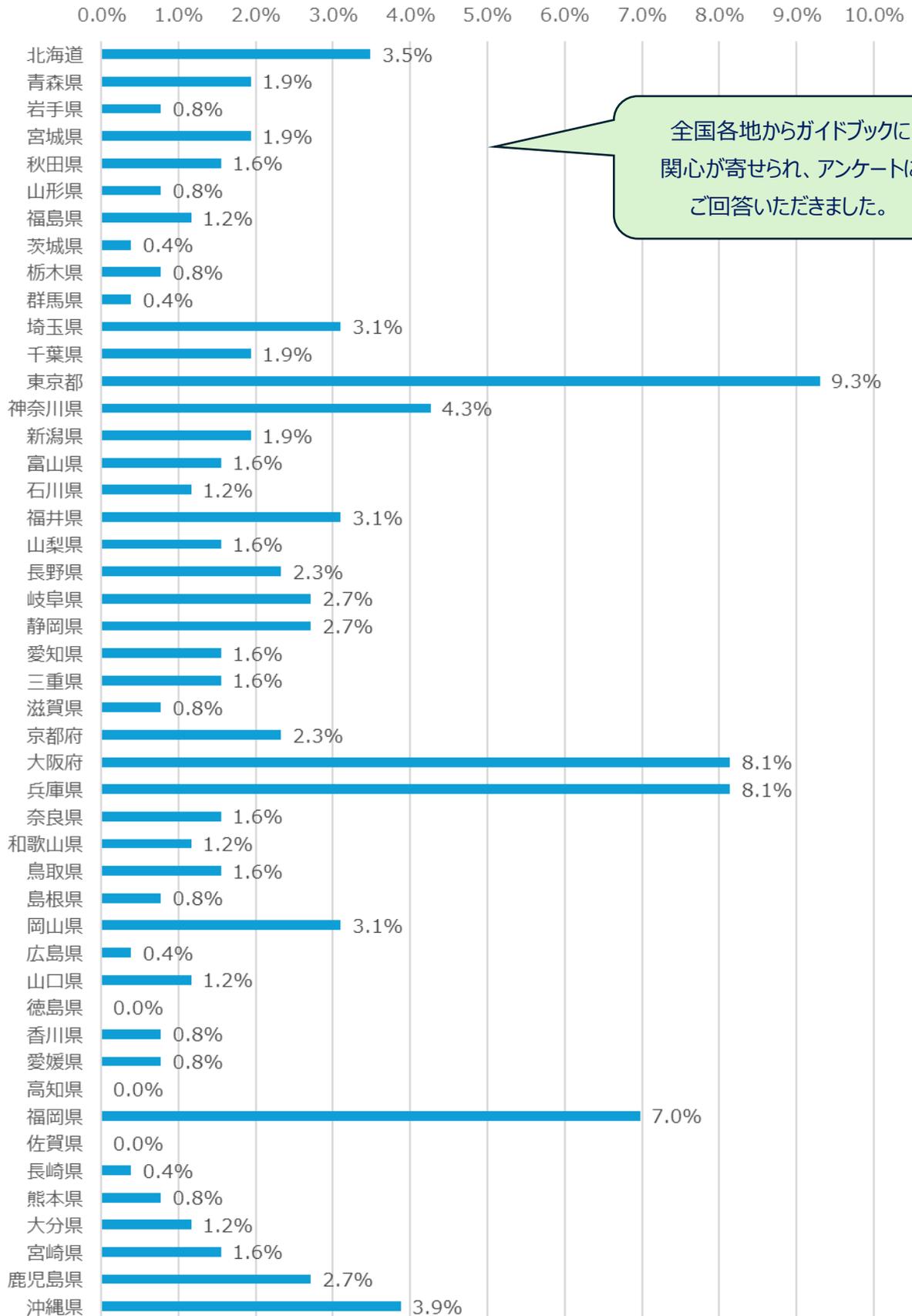
2024年6月18日開催

「オンラインセミナー【医療従事者向け】がん患者さんの障害年金について～医療現場におけるサポート」

<https://www.cancernet.jp/online240618>

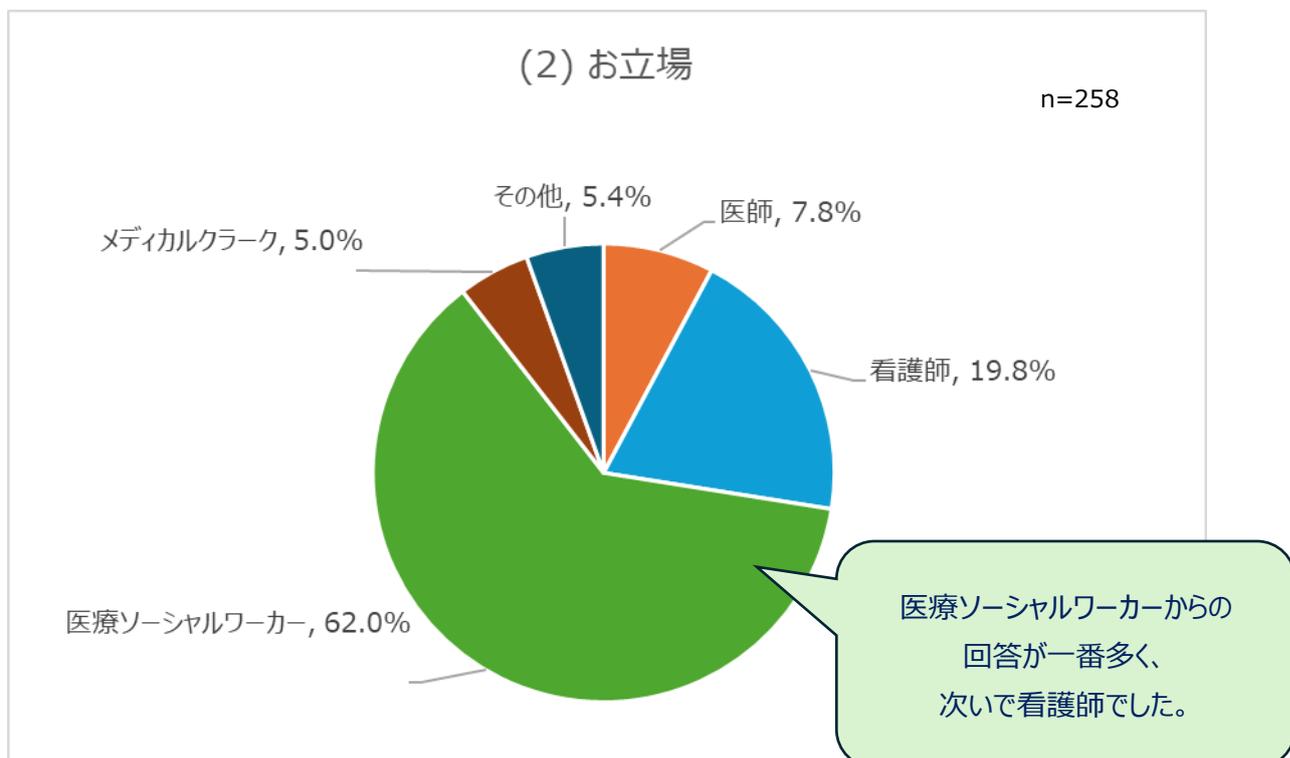
(1) お勤めの病院の所在地

n=258



全国各地からガイドブックに関心が寄せられ、アンケートにご回答いただきました。

都道府県	人数	割合	都道府県	人数	割合
北海道	9	3.5%	滋賀県	2	0.8%
青森県	5	1.9%	京都府	6	2.3%
岩手県	2	0.8%	大阪府	21	8.1%
宮城県	5	1.9%	兵庫県	21	8.1%
秋田県	4	1.6%	奈良県	4	1.6%
山形県	2	0.8%	和歌山県	3	1.2%
福島県	3	1.2%	鳥取県	4	1.6%
茨城県	1	0.4%	島根県	2	0.8%
栃木県	2	0.8%	岡山県	8	3.1%
群馬県	1	0.4%	広島県	1	0.4%
埼玉県	8	3.1%	山口県	3	1.2%
千葉県	5	1.9%	徳島県	0	0.0%
東京都	24	9.3%	香川県	2	0.8%
神奈川県	11	4.3%	愛媛県	2	0.8%
新潟県	5	1.9%	高知県	0	0.0%
富山県	4	1.6%	福岡県	18	7.0%
石川県	3	1.2%	佐賀県	0	0.0%
福井県	8	3.1%	長崎県	1	0.4%
山梨県	4	1.6%	熊本県	2	0.8%
長野県	6	2.3%	大分県	3	1.2%
岐阜県	7	2.7%	宮崎県	4	1.6%
静岡県	7	2.7%	鹿児島県	7	2.7%
愛知県	4	1.6%	沖縄県	10	3.9%
三重県	4	1.6%	合 計	258	



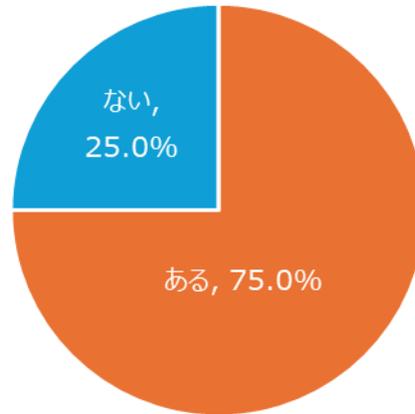
	人数	割合
医師	20	7.8%
看護師	51	19.8%
医療ソーシャルワーカー	160	62.0%
メディカルクラーク	13	5.0%
その他 (※)	14	5.4%
合計	258	

その他 (※)

がん相談支援センター(3)、臨床心理士(2)、医師事務作業補助者(2)、HCTC、社会福祉士
保健師、薬剤師、精神保健福祉士、事務、医事課、社会保険労務士（病院で相談受けている）

(3) 医師への質問：これまでがん患者さんの
障害年金請求の診断書を作成したことはありますか？

n=20

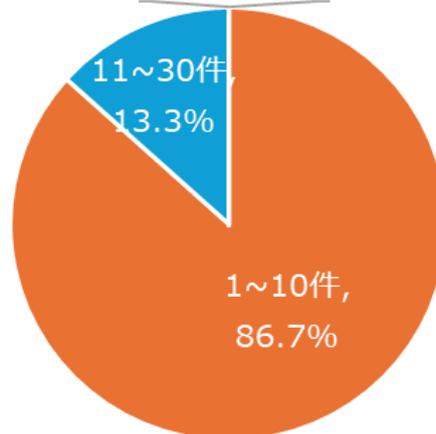


	人数	割合
作成したことがある	15	75.0%
作成したことはない	5	25.0%
	20	

(4) 医師への質問：診断書の作成をしたことが
ある方、これまでに何件ほど作成されましたか

n=15

31～50件, 0.0% 51件以上, 0.0%



	人数	割合
1～10件	13	86.7%
11～30件	2	13.3%
31～50件	0	0.0%
51件以上	0	0.0%
	15	

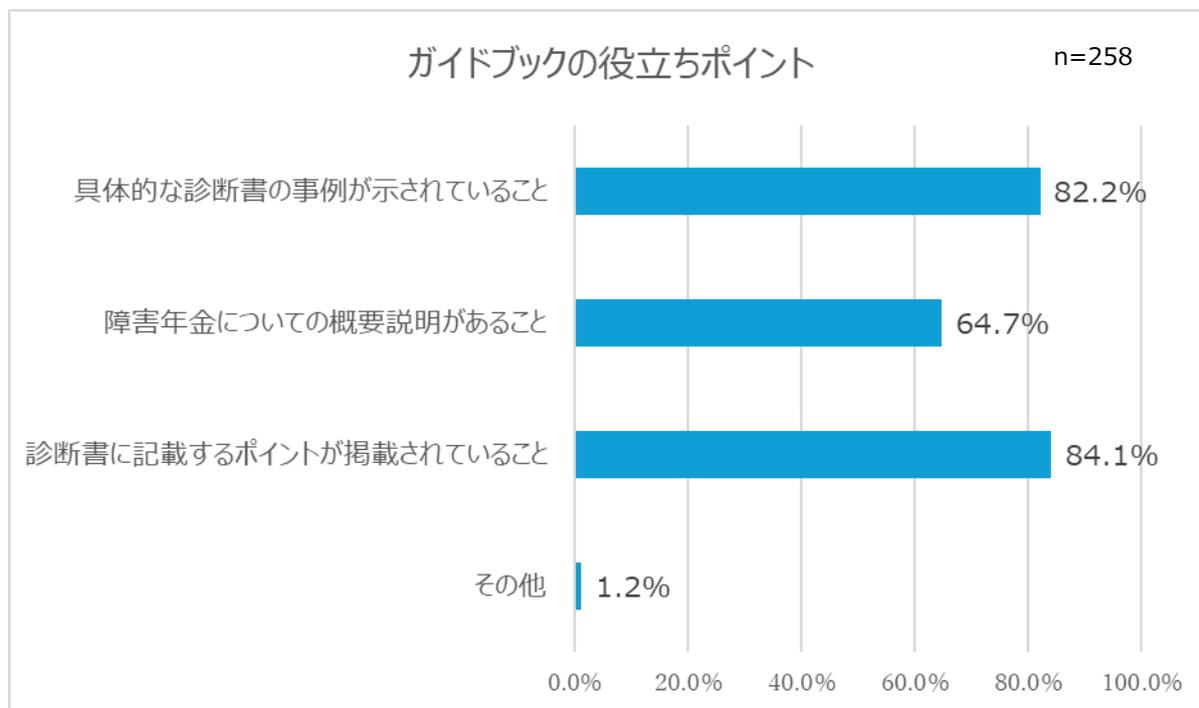
(5) **がん患者さんの障害年金請求のための診断書を作成したことが「ある」とご回答された方**にお尋ねします。これまで、がん患者さんの障害年金請求の診断書を作成したとき、**大変だったことがあればお聞かせください。**

- ・ 関節可動域の計測、各文言の書き方
- ・ 作成はさほど大変ではない。役所の担当者があまり理解していないことで、患者さんが申請に苦労している印象がある。
- ・ **日付けや用語の言い回しが、独特で判断に苦慮する場面が多い。**
- ・ **見本がないこと**
- ・ 具体的な記載法
- ・ 項目が多い
- ・ 記載項目が多い、いつの時点の情報を書けば良いのかわからなかった
- ・ 初めて記載した際にはどう書けば良いのかわかりにくかった。
- ・ **障害者手帳申請との違いへの理解**
- ・ 時間がかかる、患者さんのニーズを拾い上げながら作成するのに苦心する
- ・ **具体的な支障をうまく書くのが大変だった。**
- ・ 輸血量などしらべてかかないといけなかった（30年くらい前）

診断書の作成で苦労されていたこと

- ・ 具体的な記載についての見本がない
- ・ いつの時点の情報を書けばよいか
- ・ 患者さんの具体的な支障を書くのが大変
- ・ 障害者手帳との違いへの理解 など..

→ **ガイドブックで、わかりやすく、具体的に説明しています！**



<その他>

- ・ どの医療スタッフが見てもわかりやすいので、制度がわかりやすい
- ・ 見やすいデザインであること
- ・ ポイントが絞られているので障害年金の支援に不慣れな職員が理解しやすい内容になっている。

- ・ 診断書作成に当たって、診察時等に患者に確認が必要な項目、情報等が掲載されておりわかりやすい。
- ・ 見てみないと分からない
- ・ 見やすい構成になっている。1 ページに A 表、B 表、等級がまとめてあり初見の医師でも理解しやすい。診断書の記入例が実践的でわかりやすい。
医師に依頼するとき、**この冊子があれば、医師もこれなら書けるかもと抵抗感の軽減が期待できる。**
うっかり安易に印を付けやすい「一般状態」に「最も重要」と記載や、経験や知識のある人しか知らなかった書き方を記載するなど、今後の自信をもって相談対応ができそう。有料級の情報満載。
- ・ 医師に依頼するとき参考という形で医師に見せることができる
- ・ 支援する側のポイントも記載されていて、ありがたかったです。
- ・ 冊子になっていて扱いやすい

(7)「医師向け がん患者さんの障害年金診断書作成ガイドブック」について、ご意見、ご感想があればお聞かせください。

- ・ ガイドブックで実際を知れてよかったが、もう少し手続きが分かりやすくなって欲しいと思いました。病院の職員でさえも諦めている現状があると思います。
- ・ 医師にとっても、がん相談に対応する職員にとっても、常に近くにおいて相談に活用でき、多くの患者さんにメリットがあると思います。
- ・ 記載例があり、また注意事項も入っていてわかりやすい
- ・ もっと色々な事例があるとよい。また、患者さん自身が記載する書類の事例もあるとよいと思いました。
- ・ 診断書記載のポイントが明記されておりよい。医師にこのガイドブックを用いて説明するとよいと感じた。可能ならば事例を増やしいただければと思いました。
- ・ 重要なポイントがわかりやすく記載されていると感じます。
- ・ 消化器科、呼吸器科、外科の事例もあると有難いです。
- ・ 医師補助クラークが作成するときに参考になり、ポイントをおさえた書類作成ができると思います。
クラークや医師の事務作業の軽減につながります。
- ・ 医師に提示できる資材が手元にあるということが、相談員として心強いです
- ・ 手探りで作成していたので、有難い。医師やクラークにも説明しやすい。
- ・ スタッフ間で共有したいです
- ・ 他のがん疾患の見本もあると助かります
- ・ 事後重症のことや診断書の記載例でのポイントがわかりやすいこと
- ・ 初心者にとっても役に立ちそう
- ・ 具体的にポイントが記入されており役立つ
- ・ がんによる障害年金申請や受給されている方のケースに出会ったことがなく、手がかりの参考になりました。
- ・ 障害年金の診断書作成件数が少ないので、医師も医療秘書も悩みます。わかりやすくポイントが記載されている事が嬉しいです。
- ・ わかりやすく記載されており、このようなものが欲しかったです。
- ・ 大変助かる 書類アシスタントにも共有できる

- ・ 非常にわかりやすく事例で記入されており、参考になる
- ・ 他の疾患のガイドブックも作成していただきたい
- ・ 医師向けとありますが、医療ソーシャルワーカーとしても医師への診断書依頼時にどのような点に注意して記載いただくのがよいのか、どの部分の記載内容が重要なかなど説明できるので助かります。
- ・ 冊子のサイズも A4 サイズでちょうど良い見やすい大きさだと思います。医師向けではありますが、**誰もが理解すべき点や注意点が分かりやすく書かれていて良かった**です。また、**医師の診断書が受給の鍵であること、がん患者が生活を送っていくには必要な手段の一つであることがしっかり書かれていて医師に伝わると**思うので良かったです。
- ・ ガイドブックを見ながらなら、医師が診断書を書きやすいと思う
- ・ **主治医へ記載依頼する際に利用することで、スムーズな書類作成となりそうです。**
- ・ 施設内での情報共有や患者さんに声がけができそう。
- ・ 良くまとまっていると思いました。主治療を別の病院で受けていて単発の放射線治療だけ当院に通院しているようなケースで、主治療を受ける医師が書けないというので書いてくださいと診断書を持参される方がいます。診断書は指定医でなくとも記載できるのは事実ですが実際に単発診断の医師では書けません…。そのあたりの配慮文があってもいいかなと思いました。
- ・ 医師への説明に役立つ
- ・ 皆で共有して患者さんのために還元していきたいです
- ・ 他の診療科の記載例や幼少期にがんになり 20 歳を迎えたケースの記載例も見たいです。
- ・ がん患者さん用の説明が分かりやすいです。
- ・ 重要度が一目でわかりやすい
- ・ **ドクターが監修された冊子があると、医師にも話をしやすい**と思う。
- ・ 医師に提示しながら説明ができるので、使いやすい。
- ・ 具体的な記載例がありましたら、院内勉強会などで活用したいです。
- ・ ぜひ今後の申請時に参考にしたいと思いました。
- ・ 大変参考になりました。ポイントがまとまっていてわかりやすかったです
- ・ 今、障害年金の申請を検討している患者様がいて、医師も記載したことがないとのことなので参考になると思いました
- ・ 記載例も含まれており医師に記載を依頼する時の参考にしたい
- ・ 色々ながん種で具体例があるとよい
- ・ よく作ってくださいました、ありがとうございます。
- ・ 大変ポイントを絞って解説してくれているのでわかりやすい
- ・ がん相談支援センターとして医師にアドバイスできる
- ・ どの記載が重要か示されているところが良かった
- ・ 多くの事例を記載いただけるとありがたい。医師に提示しやすい。
- ・ 最近 DA が下書きをすることも多いので、医師ではない人にとっても書き方がわかるものがあると、私たちがハブになるときに大変助かると思う。
- ・ 障害年金の仕組みを十分理解していない状況でもコンパクトにわかりやすくまとめてくださっている。事例やポイントも掲載されていてわかりやすい。

- ・ 事例が詳細に書かれてあり、医師への情報提供時にとても役立つものだと思います。
- ・ 先生に記載を依頼する際の参考にさせていただきます。
- ・ 記入例があり、具体的な内容がわかりやすいです
- ・ 現在退院支援部署に所属しているソーシャルワーカーです。療養先についてのご相談を受けた際に**経済毒性に対する支援という部分が自身に弱くそれが患者様にとって不利益になってしまう恐ろしさを感じています。是非、患者様の支援に活用させていただきたいと感じています。**
- ・ 分かりやすく日々活用しています。
- ・ **記入しなくていい箇所や、具体的な記入例があって、医師への依頼しやすいのが、とても使いやすい**
- ・ とても見やすくありがたいです。本日のご講義（※）の中で、障害認定日の特例一覧表がお示しされ、こちらガイドブックにあったらありがたいなと思いました。

※2024年6月18日開催

「オンラインセミナー【医療従事者向け】がん患者さんの障害年金について～医療現場におけるサポート」

<https://www.cancernet.jp/online240618>

- ・ とても分かりやすい内容だったので、相談員全員分があればと思います。
- ・ 全国の医療機関に広く普及するようになるといいと思います。
- ・ 医師向けとなっていますが、障害年金の相談にがん患者さんが来られた時の相談支援に役立てそうだと思います。
- ・ 色々な助成制度においても、このように参考になるガイドがもっとあればいいのと思っています。
- ・ 素晴らしい冊子をありがとうございます
- ・ 初診の考え方のパターン例、状態記載の具体例など。積極的でない医師にわかってもらえるように..
- ・ **「一般状態区分」が最も重要であることを知りました。就労・日常生活状況を医師・看護師へ伝える方法が必要だと感じました。**相談員自身との面談時には常に日常生活で具体的に困っていること・ADL 状況・労働能力などは聴きとるように心がけています。
- ・ 実際の書類に具体的に記載例を示して下さっているので直ぐに活用できそうです。
- ・ **相談員と医師がイメージを共有できるのが良い**と思いました。メディカルコーディネーターにも共有したいと思います。
- ・ とても分かりやすく感激しました。社労士仲間にもこのガイドブックのことを伝えると喜ばれました。
- ・ 医師に依頼する際のポイントが伝えることができると感じた。
- ・ 診療科ごと病名ごとに分類されているとありがたいです
- ・ **がん患者さんに対象を絞っているのが分かりやすい**
- ・ カラーですごくみやすいと思いました。ポイントも絞っていただいているので、当院の医師向けにも活用させていただきたいと思います。
- ・ カラーで障害認定基準や診断書の記載例などが分かりやすく記載されていて、とても活用できるガイドブックであると感じました。
- ・ がん患者さんの主治医の方の場合、熱心な方が多いと思いますが、大学病院・がん拠点病院など以外の医師の方以外は、必ずしもそうとは限らないので、できるだけ多くの医師の方、医療関係者の方にひろまって欲しいです。
- ・ 就労状況等申立書についてもガイドブックがあれば助かる

- ・ 障害年金の申請を検討している方がいて参考になります。ありがとうございました。
- ・ どういうことに気をつけて書いた方がいいのか、検査欄などは、いつの物を記入するのが適切なのか、診断書には書いてあるが具体的にもっとわかりやすいガイドブックが欲しい
- ・ 共通言語もよくわかりませんので、ポイントや具体例があるのはありがたいです。
- ・ 肺がんの事例があればありがたい。呼吸器の診断書の記載例を参考にしたい。
- ・ **がんで障害年金がもらえることについて、患者さんだけでなく医療者もイメージがつかない人が多いので助かります。**
- ・ とても分かりやすい内容で、私たち MSW にとっても役立つ内容だと思います。これまで、診断書様式に付箋やメモ書きをして担当医師に依頼していましたが、その手間が省略できることに期待できると感じました。ただ、これまでも付箋やメモ書きを見ずに結局問い合わせの電話がかかってくる医師のもとに出向いて直接説明することになることが多かったので、先生たちがどこまで内容を読んでもくれるか、という懸念はあります。
- ・ 診断書作成の記載事例もあり、大変わかりやすく説明されている。
- ・ 冊子を活用して医師へ相談することができました。
- ・ メディカルクラークの立場から診断書の下書き作成を行う際に、このガイドブックがあることで障害年金の基本的なルールを含めとてもわかりやすく学ぶことができ、正しく記載することに役立てることができそうです。また、すべての医師が障害年金の作成についてのルールや注意点などに明るいわけではないため、そういった場合にこのガイドブックをお渡しすることでスムーズな作成が期待できると思われます。
- ・ 記載ポイントが明記してあるので、視覚的に分かりやすかったです。
- ・ 医師が診断書をどう書いて良いのか迷っていることもあり、診断書によって書類が通るか決まるそうなので、とても役にたつと思いました。
- ・ かなり細かく具体的なことが書かれており参考になると思います。
- ・ **がんでは障害年金が出ないと考えている医療者がまだまだ多いと思うので、医療者に向け啓発をしてほしい。**